

「月刊社労士受験別冊

勝つ！社労士受験 一般常識徹底攻略2023年版」正誤表・補遺について

2023年度社会保険労務士試験は、2023年4月14日の試験公示日現在施行されている法令に基づいて出題されます。本書は、2023年1月末日までに確定している法令に基づいて執筆しており、その後の、2023年4月14日までの事項について以下の事項を掲載いたします。

(最終更新：2023年8月30日)

頁	改正箇所	改正前	改正後	更新日
P19	11行目	※新規雇い入れから3年以内の精神障害者で精神障害者保険福祉手帳取得から3年以内の者については、令和5年3月31日までに雇い入れられた者等に限り1人をもって1人とみなす。	※令和5年4月1日から、対象障害者である労働者や職員の数の算定に当たっては、当分の間、精神障害者である短時間労働者や短時間勤務職員については、一人とカウントする。	5/19
P97	4行目	令和3年賃金構造基本統計調査	令和4年賃金構造基本統計調査	5/19
P97	(1)賃金の推移「表中」	307,400円(同年比0.1%減) 337,200円(同年比0.5%減) 253,600円(同年比0.7%増)	311,800円(同年比1.4%増) 342,000円(同年比1.4%増) 258,900円(同年比2.1%増)	5/19
P97	13行目	□男女間賃金格差(男=100)は、75.2。	□男女間賃金格差(男=100)は、75.7。	5/19
P97	(2)性別にみた賃金	・・・55～59歳で413.6千円と賃金がピークとなり、その後下降している。女性では50～54歳の277.9千円が・・・	・・・55～59歳で416.5千円(20～24歳の賃金を100とすると188.9)と賃金がピークとなり、その後下降している。女性も、55～59歳の280.0千円(同129.4)が・・・	5/19
P97	(3)企業規模別にみた賃金「表中」	375,900円(前年比0.3%減) 271,000円(前年比1.7%増) 328,000円(前年比1.1%減) 252,500円(前年比0.2%減) 303,600円(前年比0.4%増) 235,000円(前年比0.9%増)	386,600円(前年比2.8%増) 278,200円(前年比2.7%増) 331,200円(前年比1.0%増) 257,000円(前年比1.8%増) 308,100円(前年比1.5%増) 241,300円(前年比2.7%増)	5/19
P97	23行目	・・・男性で、中企業87.3、小企業80.8、女性で、中企業93.2、小企業86.7となっている。	・・・男性で、中企業85.7、小企業79.7、女性で、中企業92.4、小企業86.7となっている。	5/19
P97	(4)産業別にみた賃金	産業別に賃金をみると、男女計では、「電気・ガス・熱供給・水道業」(419.7千円)が最も高く、次いで「学術研究、専門・技術サービス業」	産業別に賃金をみると、男女計では、「電気・ガス・熱供給・水道業」(402.0千円)が最も高く、次いで「学術研究、専門・技術サービス業」	5/19

		(386.9 千円) となっており、「宿泊業, 飲食サービス業」(257.6 千円) が最も低くなっている。男女別にみると、男性では「金融業, 保険業」(485.1 千円)、女性では「電気・ガス・熱供給・水道業」(327.7 千円) が最も高くなっており、男性では「サービス業 (他に分類されないもの)」(283.5 千円)、女性では「宿泊業, 飲食サービス業」(215.0 千円) が最も低くなっている。	(385.5 千円) となっており、「宿泊業, 飲食サービス業」(257.4 千円) が最も低くなっている	
P 98	(5) 雇用 形態別に みた賃金 「表中」	323,400 円 (前年比 0.5 減) 348,800 円 (前年比 0.5%減) 270,600 円 (前年比 0.5%増) 216,700 円 (前年比 0.9%増) 241,300 円 (前年比 0.5%増) 195,400 円 (前年比 1.1%増)	<u>328,000</u> 円 (前年比 <u>1.4%</u> 増) <u>353,600</u> 円 (前年比 <u>1.4%</u> 増) <u>276,400</u> 円 (前年比 <u>2.1%</u> 増) <u>221,300</u> 円 (前年比 <u>2.1%</u> 増) <u>247,500</u> 円 (前年比 <u>2.6%</u> 増) <u>198,900</u> 円 (前年比 <u>1.8%</u> 増)	5/19
P98	7 行目	・・・男女計 67.0、男性 69.2、女性 72.2 となっている。・・・	・・・男女計 <u>67.5</u> 、男性 <u>70.0</u> 、女性 <u>72.0</u> となっている。・・・	5/19
P98	10 行目 (6) 役職 別にみた 賃金	・・・男性では、部長級 585.8 千円、課長級 484.6 千円、係長級 376.7 千円、女性では、部長級 497.2 千円、課長級 422.1 千円、係長級 334.7 千円となっている。	・・・男女計では、部長級 <u>586.2</u> 千円、課長級 <u>486.9</u> 千円、係長級 <u>369.0</u> 千円となっている。男女別にみると、男性では、部長級 <u>593.1</u> 千円、課長級 <u>495.6</u> 千円、係長級 <u>379.1</u> 千円、女性では、部長級 <u>520.1</u> 千円、課長級 <u>435.0</u> 千円、係長級 <u>337.6</u> 千円となっている。	5/19
P 98	(7) 在留 資格区分 別にみた 一般労働 者の賃金 「表中」	228,1 千円 (対前年比 4.6%増) 326,5 千円 (対前年比 8.0%増) 194.9 千円 (対前年比 11.6%増) 270.6 千円 (対前年比 5.3%増) 164.1 千円 (対前年比 1.5%増) 189.6 千円 (対前年比 7.6%減)	<u>248,4</u> 千円 (対前年比 <u>8.9%</u> 増) <u>299.6</u> 千円 (対前年比 <u>8.2%</u> 減) <u>205.7</u> 千円 (対前年比 <u>5.5%</u> 増) <u>280.7</u> 千円 (対前年比 <u>3.7%</u> 増) <u>177.8</u> 千円 (対前年比 <u>8.3%</u> 増) <u>220.9</u> 千円 (対前年比 <u>16.5%</u> 増)	5/19
P98	(1) 性別 にみた賃 金 短時 間労働者 の 1 時間	1,384 円 1,631 円 1,290 円	<u>1,367</u> 円 <u>1,624</u> 円 <u>1,270</u> 円	5/19

	当たり賃金「表中」			
P98	27 行目	・・・男性では 35～39 歳で 2,439 円、女性では、30～34 歳で 1,380 円となっている。	・・・男性では 35～39 歳で <u>2,438</u> 円、女性では、30～34 歳で <u>1,457</u> 円となっている。	5/19
P98	(2) 企業規模別に見た 1 時間当たり賃金「表中」	1,469 円 (前年比 0.3%増) 1,263 円 (前年比 1.9%減) 1,930 円 (前年比 5.9%減) 1,359 円 (前年比 2.4%減) 1,613 円 (前年比 2.2%増) 1,274 円 (前年比 2.5%減)	<u>1,458</u> 円 (前年比 <u>0.7%減</u> ) <u>1,249</u> 円 (前年比 <u>1.1%減</u> ) <u>1,950</u> 円 (前年比 <u>1.0%増</u> ) <u>1,327</u> 円 (前年比 <u>2.4%減</u> ) <u>1,575</u> 円 (前年比 <u>2.4%減</u> ) <u>1,250</u> 円 (前年比 <u>1.9%減</u> )	5/19
P99	2 行目	主な産業別に 1 時間当たり賃金をみると、男性では、「医療、福祉」(3,736 円) が、女性では「教育、学習支援業」(2,081 円) が最も高くなっている。	産業別に 1 時間当たり賃金をみると、男女計では「 <u>教育、学習支援業</u> 」( <u>2,447</u> 円)、男性では「 <u>医療、福祉</u> 」( <u>3,613</u> 円)、女性では「 <u>教育、学習支援業</u> 」( <u>2,052</u> 円) が最も高くなっている。	5/19

本書に以下の誤りがありましたので、訂正させていただきますとともに深くお詫び申し上げます。

頁	訂正箇所	誤	正	更新日
P103	下から 2 行目	次いで限定総合職 36.1%、総合職 13.5%の順となっている。	次いで <u>総合職</u> 36.1%、 <u>限定総合職</u> 13.5%の順となっている。	8/30
P139	問 61	女性で 24 万人の増加となった。	女性で <u>22</u> 万人の増加となった。	8/30
P144	問 93	いわゆる不本意非正規雇用労働者は (2021 年) 存在し	いわゆる不本意非正規雇用労働者は <u>10.7%</u> (2021 年) 存在し	8/30
P144	問 94	2021 年の我が国の就業率は約 7 割であり、就業者のうち約半数が正規雇用労働者、約 3 割が非正規雇用労働者である。	2021 年は、 <u>正規雇用労働者および非正規雇用労働者</u> ともに減少がみられた。	8/30
P144	問 95	非正規雇用労働社	非正規雇用労働 <u>者</u>	8/30